

神戸学院大学人文学部 1 回生にゼミの一環として、六甲山地の災害の歴史と砂防事業の取り組みについて学んでいただくため、六甲山地で過去に災害が発生した箇所や、砂防事業を実施している箇所を一緒に歩き、現地説明を行いました。

## 概要

日時：平成26年11月4日（火） 9:30～14:00

コース：【スタート】JR新神戸駅→<sup>ぬのびき</sup>布引貯水池（断層）→<sup>いちがほら</sup>市ヶ原  
→<sup>しょうじょうけ たたべひがし</sup>猩々池→<sup>すわやま</sup>多々部東えん堤→【ゴール】諏訪山公園

主催：神戸学院大学人文学部福島ゼミ 参加人数：6名

## ○六甲山地の成り立ちの説明

古くは、低い丘だったと言われる六甲山地は、今から100万年前から始まる「六甲変動」により、現在の地形に至っています。

布引貯水池付近で布引断層が地表に出ているところがあります。断層を見ながら、六甲山地は断層運動によって形成されたことを説明しました。



六甲山地の成り立ちの説明  
(布引貯水池)

## ○生田川流域の土砂災害について説明

市ヶ原地区の生田川の河川敷(市ヶ原えん堤の上流)で、阪神大水害(昭和13年)で受けた生田川の土砂の流出による三宮での被害や、昭和42年の7月豪雨による市ヶ原地区の大規模崩壊の被害などについて説明しました。



生田川流域の土砂災害について説明  
(市ヶ原)

## ○感想「たくさんの砂防えん堤があり驚いた」

昭和26年に整備された多々部えん堤や、近年補強工事を行った多々部東えん堤を見ていただきました。学生からは、「初めて六甲山地を歩いたが、たくさんのえん堤があることに驚いた」、「砂防事業のことがわかりいい勉強になった」といった感想をいただきました。

六甲砂防事務所では、砂防事業や土砂災害に対する理解を深めていただくために、このような現地案内や出前講座を実施しています。



補強工事の説明  
(多々部東えん堤)

## 【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局  
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15  
TEL：078-851-0535



※出前講座は事務所HPをご覧ください。

URL：http://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/pr\_media/demaewelc.php